

こやのせだより

「あきらめない！」

少しを、次々と、時間内に

「できるを重ねる」

自信

平成30年4月13日
北九州市立木屋瀬小学校
校長 瀧上 正彦

元気な新1年生がやってきた！

新1年生84名が入学してきました。入学式では、「ご入学おめでとうございます」と声をかけると、「ありがとうございます」と上手に返事ができました。明るく、元気な1年生が入ってきたので、学校はさらに活気づきました。これから、全学年児童453名「みんながホンキのチーム木屋瀬」で一人一人の「かくれた力」が発揮できるようがんばっていきます。

どうぞご協力をお願いいたします。



◎ 平成30年度 入学式

入学式の式辞では、朝、学校に来るときランドセルの中に入れてきて欲しい3つの気；「元気」「やる気」「勇氣」について、話をしました。



「元気」は、早寝、早起き、朝ご飯など、正しい生活習慣を行うことで、朝元気に学校に来させることをお願いしました。

「やる気」は、勉強やスポーツなど、何にでも挑戦する気持ちです。保護者の方には、人と比べたり、「ダメ」と言ったりしないこと、褒めることをお願いしました。少しの成長を発見して褒めて下さい。

「勇氣」は、ルールを守る勇氣です。人に流されず、正しいことを見極め、行動するには勇氣がいります。一人でもルールを守る勇敢な子どもに育てて欲しいです。

全部で84名の新1年生。今の6年生のように大きく成長してほしいものです。



◎ 6年生の活躍

6年生は、前日の入学式の会場設営だけでなく、当日新入生（保護者）を校門で笑顔と挨拶で出迎えたり、式の中で小学校生活の行事や過ごし方を教えたりしてくれました。

また木屋瀬小学校校歌を大きな声で歌って、新1年生に紹介してくれました。

今は、朝自習の時間や掃除のお世話をしています。



シリーズ 子育て応援

～校長の独り言～

子どもたちの輝かしい未来を夢見て

「おはようございます」

明るい笑顔と弾むような声で挨拶をする木屋瀬小の子どもたち。学校前を通る中学生も、声をかけると元気に返事が返ってきます。地域の方と挨拶を交わしてもみな笑顔です。

さすが、古くより客人をもてなす歴史と伝統のある木屋瀬宿の町です。この居心地の良さに、木屋瀬に来てよかったなあと思う毎日です。

私は、門司区の藤松小より転任してきた校長の瀧上と申します。門司も交通の要衝として、古くより栄えた港町、商人の町で、居心地のよい町でした。その土地の風土は、子どもたちの成長に大きく役立ちます。この町のよさを生かし、子どもたちの教育に望みたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、私はこれまで学校便りの中に、「子育て」に関するコラムを設け、気になった書庫から子育てに関するエッセイ（考え）を紹介してきました。

私自身、現在小6と中3の親です。子育てに悩まない日、関わらない日はありません。また、それが私の楽しみであり、生きがいでもあります。

小学生を育てる保護者の皆さまもきっと同じように悩み、苦しむことがあるのではないかなかなかお一人お一人と話す機会がないので、せめてこのコラム欄を通して助言ができないか、そう思い校長として8年間「校長の独り言」を続けてきました。

今、時代は大きく変わろうとしています。それは、AIやITの発展です。10年後には、多くの仕事をロボットが肩代わりし、海外とのデスク上でのやり取りが増えてきます。そうした未来に生きる子どもたちに今、私たちは何を教えるべきなのか、どう接するべきなのか、共に悩み、考え、正解のない子育てに挑んで（？）いきたいと思っています。

もちろんこの「独り言」自体が正解ではありません。何かの機会に廊下などで顔を合わせた際に、感想やご意見などいただけたら幸いです。保護者の皆様ともたくさんお話をしたいと考えています。

どうぞよろしく願いいたします。